

平成
14年度
認定



おかべ かつお
岡部 勝夫さん

板金・溶接・組立を一体化した、精密板金加工の熟練技能工。
光学測定装置など精密機器の加工に優れている。

岡部勝夫さんは
精密板金加工の熟練技能者

平成18年に引退するまで
いろいろな製品を作っていたよ

住宅の外装等や
作る建築板金や

自動車のキズや
へこみ等を修理する
自動車板金等があるが

岡部さんの
分野は
板金と溶接
組み立てを
一体化した

加工要求精度の高い
精密板金を主に
扱っていたんだよ

板金加工とは
金属の板（アルミ・ステンレス・鉄鋼等）を
切ったり曲げたりして製品に加工すること

金属板

具体的に教えていただくと

光学測定器

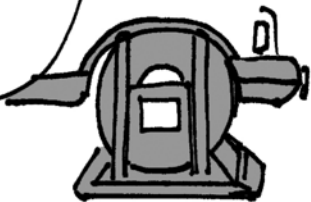
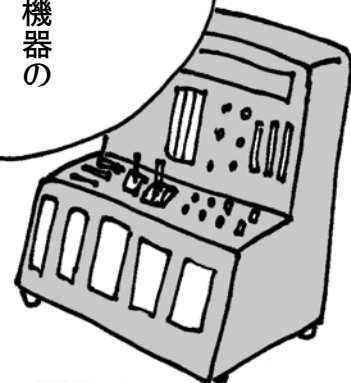
(光がまっすぐ通るようにする
角度が少しでも悪いとダメ)

船舶機装用通信機器の筐体製作の
筐体製作 (難度が高い)

軍需製品等の精密な部品

テレビ用のモニターテーブル
芸術作品 (綿密な指定)、
等々あらゆるものだね

駐車違反用「車止め」
車のタイヤをブロックする機械を警視
庁に納めたこともあるよ



生まれは山形県庄内地方
高校卒業と同時に上京

農業をやるのが
どうもイヤで



羽田の先輩のところへ
一晩泊めてもらうつもりで
そのまま居ることに

そして仕事も
先輩と同じところへ



そこが板金の町工場

『板金との出会い』だったんだ

結局7年半
修行して

仕事を覚えて
いったよ

営業も
2年ほど
やってね

そこでお客様との
つながりを作ったよ



昭和45年独立
有限会社岡部製作所を
設立



もつとも今までの
工場の片隅を
借りて働いて
いたんだけどね

生田
ヤブ
カニ

昭和58年、川崎市高津区宇奈根に移転
自社工場となる

最初は家内に
手伝ってもらいながら
一人でやっていたよ

初めは機械調達

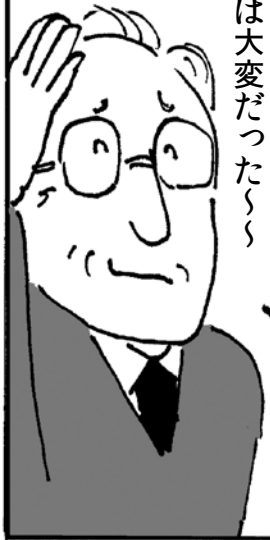
精密板金はとくに
設備投資にお金がかかる

ベンダー（板を折り曲げる機械）
シャーリング（板を切る機械）

パンチング（板に穴を開けたり加工する機械）
アルミ溶接機、スポット溶接機等々

全部揃えないと仕事ができない

最初は大変だったよ



だんだん仕事も増え
よりレベルアップのため
1級技能士の資格を
取ったよ

実技試験500人
受けて
学科試験まで
残ったのは20数人

精密板金は
1ミリの半分以下の
精度を求められる

技能士なのにこんな
変なもの作って、と
言われたくないから
常に勉強してたよ

常に勉強してたよ

ある会社に頼まれ
NASAの溶接の
実技試験も受けた

半年ごとに
テストがあるんだよ

工場板金作業
1級技能士
昭和51年10月19日

超難関

合格

精密板金の必需品
ダイヤル式ノギス
1ミリの
1/10を測れる



レントゲン
曲げ試験
引張り試験
割れ試験



特に人間の手の
感覚はすごい！
やっっているうちに
分かってくるよ

ただ、何でも作れるように
なるには身体で
覚えないとね

同じものを作らないから
あきない、面白い！

私が作ってたものは
1点もの、特注品や試作品



ものを作るのが
好きなら

精密板金は
いろいろな可能性があつて

楽しいよ！



面白かったのは
彫刻家の作品づくり

田辺光影先生の作品を
何点か形にしたんだ

箱根の彫刻の森美術館
神戸須磨現代彫刻展
佐久の近代美術館の
シンボルタワー etc...

毎晩のように
お酒を飲んで
打ち合わせしたよ

●住所／川崎市多摩区在住
元有限会社岡部製作所経営